



小林多喜二

明治36年(1903)大館市川口(旧下川沿村)に生まれ、4歳のときに一家は小樽にわたり、小樽高商卒業後、銀行に勤務し次第に労働運動と社会主義思想に目覚め傾倒していきました。昭和4年に発表された『蟹工船』でプロレタリア作家として不動の地位を占めました。このたびは小樽文学館から関係資料を借用し展示します。

小林多喜二(こばやし たきじ)



狩野亨吉

『三策』を著し、吉田松陰が松下村塾から出版。亨吉は良知の二男で東京帝国大学卒の文学博士であり理学博士。33歳で京都帝国大学初代文科大学長。二人とも維新後の大館佐竹家のために尽力しました。大館郷土博物館所蔵の書簡資料を展示します。

平田小六(ひらた せうく)

父親の幸次郎が大館中学の英語・地文の教師をしていた明治36年(1903)大館町東大館715番地内7番で生まれる。父の仕事の關係で明治44年には大館を離れる。『囚はれた大地』を発表しプロレタリア作家としての地位を築く(対馬美香「大館出身の希有な文学者」平田小六の生涯より)。秋田桂城短期大学対馬美香先生が収集された平田小六作品書籍を展示します。

赤城右堂(あかぎ ゆうどう)



右堂の作品

本名は山崎陽夫(やまさき はるお)。昭和6年大館町片町に生まれ、専修学校に通うも学校向かいの青柳染め物屋に奉公、秘伝の草木染めを伝授され、のち上京、人間国宝鎌倉芳太郎のもとで研鑽、「絵画性溢れる」染色を意欲的に求めて活動。昭和58年の最初で最後の個展に大作「万里の長城」を発表。話題を呼ぶも1カ月後に急逝。大館郷土博物館が購入した反物2点と市民の方々が所持の作品を展示します。

大館市の先人顕彰祭

申・問 顕彰祭実行委員会事務局
伊多波さん ☎43-0492

10月11日(土)

<先人史跡めぐりバスツアー> 9時30分~16時
見学場所 郷土博物館、鳥潟会館、松下村塾、二井田温泉寺など

定員 80人(先着順)

参加費 1,500円(昼食代含む)

<演劇公演「ハチとふつうの人々(昌益と多喜二)」> 18時30分~20時

ところ 市民文化会館

入場料 一般 1,000円 中・高校生 500円

10月12日(日)

会場 市民文化会館

<シンポジウム「安藤昌益 理解のために」> 13時~16時30分

基調講演 新野直吉氏(元秋田大学学長)

入場料 無料

10月13日(月)

会場 市民文化会館

<記念講演「女性の目を通した小林多喜二の人間像」> 10時~11時30分

講師 沢田章子氏(文芸評論家)

入場料 無料

<多喜二と母セキに寄せる歌唱リサイタル> 11時40分~12時30分

出演 相川マチ氏(声楽家)

入場料 無料

<講談と先人顕彰の夕べ> 13時30分~17時

○講談「小林多喜二の母」ほか
宝井琴桜氏(女流講談師真打ち第1号)

○郷土の音楽人(中田羽後、上原敏)を偲ぶ歌唱の夕べ

合唱 大館フラウエンコール

歌・踊り・演奏 大館上原敏の会 ほか

入場料 一般 1,000円 中・高校生 500円

職業訓練センター会場
☎43-5817

9月27日(土)、28日(日)

サークル展・実技体験・即売会

28日は16時まで
9時~16時30分

無料体験コーナー

。呈茶 10時~15時

サンクレア大館会場

☎45-0515

9月27日(土)、28日(日)

サークル展・実技体験・即売会

28日は15時30分まで
9時~16時30分

矢立ハイツ屋台コーナー

11時~14時

9月28日(日)

サークル会員発表会

13時30分~15時30分

ダンスパーティー 18時~21時

参加料 1,000円

中央図書館会場

☎42-2525

9月27日(土)、28日(日)

真崎コレクション展

10時~17時

菅江真澄の直筆本などを展示します。

新聞に見る大館展

9時30分~17時

鳥潟会館会場

☎46-1009

9月28日(日)

さわやか茶会 10時~15時

保健センター会場

☎42-9055

9月28日(日)

Let's育児、体験してみよう

赤ちゃんのお世話、妊婦体験

離乳食コーナー

講演会 13時30分~14時30分

演題「母乳育児への応援」

講師 菅原光子氏

(比内町立扇田病院助産師)

青少年ホーム会場

☎42-0872

9月27日(土)、28日(日)

サークル作品展 9時~17時

9月27日(土)

サークル成果発表会

9月28日(日)

お茶会 10時~13時

県北部男女共同参画センター会場

☎49-8552(大町57番地)

9月27日(土)~29日(月)

9時~17時(29日は21時まで)

パパの子育て体験記揭示

著名人30余人の著書を揭示